


ねこねこ
vol.14新聞

～ワインサッポ・トランスレ～ションの

お気楽通信です～



こんにちは 

猫の「モフモフ」をグーグル翻訳したら
"fluffy" (ふわふわ) になって
にゃんたがニュアンスが違ふな。と思うにゃー子です。

今回は^F翻訳への投資^甲について片勝手に言いますが
AIの発達^世がすすむ中、消える職業の中に
翻訳があるとか、イメージが強いですが、
言葉ってその時のニュアンスや、新しい流行に合わせて
意味が変わっていき、「大丈夫です」なんか、
生身のニンゲンでも、理解に苦しむことがあります。

あと、にゃー子は、本づくりに関わったことがあって、
そこには編集者という職業の方がいました。
作家の意図と内容に偽りやズレがない言周^アって、
編集者を通すことで、出片反し、本や雑誌紙になります。
これ程、web、SNS、無料コンテンツがある中、
本が売れるのは、内容が保証正^アていてい^アること
だと、にゃー子は思っています。

それと同様に翻訳者も、依頼主の意図、言葉・
単語の意味が伝わり保証をするのが仕事で、
翻訳者を通す意味であり、投資する価値なんだと
にゃー子は思っています。

自分の知らぬ間に言語の意味がぬちやくちで、
伝わらず^ア身心をかくのは、嫌ですよね。

ちょっと、言い過ぎました。にゃー子反省...。く^アにゃー



あやまがふたつ
ありまして
あやまがふたつ
ありまして
水戸橋の下に
便所虫が之匹々
逆さに出てきた
あやまがふたつ
ありまして
あやまがふたつ
ありまして

